PENNY LANE 24

ペニーレーン24 感染拡大防止への取り組みとご協力のお願い

Ver.2020/0924

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の取り組みをさせていただきます。
皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

【出典】
・ライブホール、ライブハウスにける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン
（一般社団法人 ライブハウスコミッション）
・北海道のライブ・エンタテインメントにおける新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン
（一般社団法人 北海道ライブ・エンタテインメント連絡協議会）
・１１月末までの催物の開催制限等について
（内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室）
・北海道新型コロナウイルス感染症対策本部会議　【第23回】R2.9.14　資料２　イベント開催制限について
（北海道新型コロナウイルス感染症対策本部）

当店の感染拡大防止への取り組み

スタッフの健康・体調管理

●出社前・出社時の検温と体調確認を徹底しています。
●発熱や感冒症状のあるスタッフは出勤させないようにしています。

店内の換気

●ライブエリア内は、常時 機械による換気をしています。
●換気効率向上を図るため、公演時も一部ドアを開放しています。
●楽屋や控え室などは空調機器の常時稼働と必要に応じて窓や扉の開放を行います。

飛沫による感染への対策

●スタッフのマスク着用と咳エチケットを徹底しています。
●お客様と対面する場所ではビニールシートやフェイスガードなどで対策しています。
●ジェットタオルの使用を止め、ペーパータオルを設置しています。

接触による感染への対策

●スタッフの手洗いと手指消毒の徹底をしています。
●店内各所に手指消毒用アルコールを設置しています。
●ドリンクコインは各公演ごと消毒をしています。
●椅子・手すり・ロッカー・機材など、手が触れる場所の消毒をしています。

その他

●北海道コロナ通知システムのQRコードを会場に掲示しています。
ご来場の際は、ご登録をお願いいたします。
●接触確認アプリ「COCOA」の利用を推奨します。

※北海道コロナ通知システムとは
QRコードからＥメールアドレスをご登録いただくと、同じ日、同じ施設を利用した方の中から
新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、北海道からＥメールでお知らせがくるものです。

皆様へのお願い

入店する方の保健衛生対策

●入店するすべての方の**マスク着用、手指消毒、咳エチケット、手洗いの徹底**をお願いいたします。
●下記に該当する方は**入店をお断り**させていただきます。

1 入店時の検温で、発熱(37.5度以上)がある方。
また、5日以内に平熱を超える発熱をされた方。
2 咳・咽頭痛などの症状(軽度なものを含む)がある方。
3 新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触がある方、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある方。

※主催者様へお願い

●来場者・出演者・公演関係者の入店時の検温をお願いいたします。
●マスクを持参していない方へマスクを配布できるよう、ご準備ください。
●発熱や感染の疑いがある方への払い戻し措置などを事前にご検討ください。
●来場者の連絡先を確実に把握するよう、ご対応をお願いいたします。
●感染拡大防止のために必要な物品は、可能な限りお持ち込みください。

店内の換気

●ライブエリア内は、常時 機械による換気をさせていただきます。
騒音は70dB程度になります。
なお、PAからの音量は平均100dBです。
●換気効率向上を図るため、公演時も一部ドアを開放させていただきます。
音漏れによる近隣への対策としてPAからの音量を下げていただく場合がございます。
●楽屋や控え室などは空調機器の常時稼働と必要に応じて窓や扉の開放を行います。

飛沫による感染への対策

< ライブエリア >
●舞台から客席最前列までの間隔を2m確保させていただきます。
●立ち位置やアクティングエリアは舞台前ツラから1m以上奥にするなど、
出演者とお客様の距離の確保や、飛沫による感染防止にご協力ください。
(図面のセーフティーラインをご参照ください)
●お客様の大声での発声は禁止します。会話も可能な限りお控えください。

< 楽屋 >
●飲食物の取り扱いに十分ご注意ください。
●お鍋やホットミルクなど、当店からの「おもてなしケータリング」は
しばらくの間は控えさせていただきます。

< 物販 e.t.c.>
●スタッフとお客様の間を仕切れるような工夫をお願いいたします。

< 入退場口・整列 >
●もぎりなどの受付スタッフとお客様の間を仕切れるような工夫をお願いいたします。
●プレゼントや差し入れは控えるように促してください。

皆様へのお願い

接触による感染への対策

< ライブエリア >

●ダイブ・モッシュ・サーフ等の、他の人と触れ合う行為は禁止させていただきます。
●公演中はご自分の席から移動しないようにしてください。
●出演者の客席への降壇、お客様をステージに上げる行為は禁止させていただきます。
●お客様と出演者が接触するような握手会や交流会はお控えください。

< 楽屋 >

●楽屋や控え室は密集しない様なレイアウトでのご使用をお願いいたします。
●紙皿や紙コップなどの使い捨て容器のご使用をお願いいたします。
●コーヒーメーカー、湯沸しポットは、可能であればご使用を控えていただくか、
使用する場合は衛生面に十分ご注意ください。

< 物販 e.t.c.>

●多くの人が手に触れるサンプルや見本はご遠慮ください。
●キャッシュレス決済の導入をご検討ください。
●出演者が売り場に出て販売をされる行為は、極力お控えください。
●混雑緩和や整理誘導の人員配置など、密な状況が発生しないようご対応ください。

< 入退場口・整列 >

●入退場時は出入口付近に人が密集しないような誘導をお願いいたします。
●行列ができる際は、お客様同士の間隔をあけるように誘導をお願いいたします。

(参考)
・バックステージカフェ：物販などでの展開が無い場合は、1m間隔で約38名。
・隣接の駐車場：1m間隔で約110名。

●パンフレット・チラシ・アンケート等の手渡しによる配布は極力お控えください。
●入待ち・出待ちを控えるように促してください。
●キャッシュレス決済やオンラインチケットの導入をご検討ください。

その他

●来場前後に交通機関や飲食店を利用する際は、感染予防に留意してください。

**※今後、政府および自治体の指示や基本方針の変更、
当該地域の感染拡大の状況により、即時改定する場合がございます。
あらかじめご了承ください。**

9/19～11/30までの収容人数に関して

（改訂後） ６月以降の段階的緩和

項目	項目	ステップ１ 6/1～6/18	ステップ２ 6/19～7/9	ステップ３ 7/10～7/31	移行期間後 8/1～9/18	移行期間後 9/19～11月末
外出の自粛等	施設の利用	慎重に対応	「新北海道スタイル」の実践による感染拡大の防止（新しい生活様式の実践 等）			
	接待を伴う飲食店（ライブハウス等）					
	他都府県との不要不急の往来					
	札幌との不要不急の往来					
使用制限等の施設の	業種別のガイドラインが策定済の施設	「新北海道スタイル」の準備が整った施設から順次再開				
	接待を伴う飲食店（ライブハウス等）	慎重に対応				
イベントの開催制限等	屋内イベント	100人以下 収容率50%	1,000人以下 収容率50%	5,000人以下 収容率50%	5,000人以下 収容率50%	別紙
	屋外イベント	200人以下 十分な間隔	1,000人以下 十分な間隔	5,000人以下 十分な間隔	5,000人以下 十分な間隔	

イベント等の開催制限（9/19～11月末） 別紙

収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度とする（両方の条件を満たす必要）

	収容率		人数上限
イベントの類型	大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの クラシック音楽コンサート、演劇等、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演・式典、展示会　等	大声での歓声・声援等が想定されるもの ロック、ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブでのイベント　等 ⇒ 詳細は次頁を参照	①収容人数 １万人超 ⇒ 収容人数の５０％ ②収容人数 １万人以下 ⇒ ５，０００人
	１００％以内（席がない場合は適切な間隔）	５０％※以内（席がない場合は十分な間隔）	

（※）異なるグループ間では座席を１席空け、同一グループ（５人以内に限る。）内では座席間隔を設けなくてもよい。（収容率が５０％を超える場合がある。）

各種イベントにおける大声での歓声・声援等がないことを前提としうる／想定されるもの の例

大声での歓声・声援等がないことを前提としうるものの例	大声での歓声・声援等が想定されるものの例
音 楽	音 楽
クラシック音楽（交響曲、管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲 等）、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲 等のコンサート	ロックコンサート、ポップコンサート 等
演劇等	スポーツイベント
現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等	サッカー、野球、大相撲 等
舞 踊	公営競技
バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等	競馬、競輪、競艇、オートレース
伝統芸能	公 演
雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞 等	キャラクターショー、親子会公演 等
芸能・演芸	ライブハウス・ナイトクラブ
講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等	ライブハウス・ナイトクラブにおける各種イベント
公演・式典	※遊園地（いわゆる絶叫系のアトラクション）についても同様の考え方を適用する
各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、ダウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等	
展示会	
各種展示会、商談会、各種ショー	
※映画館、美術館、博物館、動植物園、水族館、遊園地等についても同様の考え方を適用する	

（注）・上記は例示であり、実際のイベントが上のいずれに該当するかについては、大声での歓声・声援等が想定されるか否かを個別具体的に判断する必要がある。
・イベント中（休憩時間やイベント前後を含む。以下同じ。）の食事については業種別ガイドラインで制限。また、イベント中の食事を伴うものについては、「大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの」として取り扱わない。

上記の資料を元に、下記事項を遵守いただいた上で次頁の収容人数にさせていただきます。

イベント等の開催制限の緩和を適用する場合の条件（感染防止の取組と公表）

○消毒の徹底（感染リスクの拡散防止）

○マスク着用の担保（感染リスクの拡散防止）
- マスクを持参していない者がいた場合は**主催者側でマスクを配布し、着用率100％を担保**

○参加者及び出演者の制限（感染リスクの拡散防止）
- 有症状者の出演・入場を確実に防止する措置の徹底（**検温の実施**、有症状の出演者は出演・練習を控えること、主催者が**払い戻しの措置等を規定しておくこと**等）

○参加者の把握（感染リスクの拡散防止）
- 事前予約時又は入場時に**連絡先を確実に把握**することや、**北海道コロナ通知システム**や**接触確認アプリ**（COCOA）のダウンロード促進等の**具体的措置**を講じること（例：アプリのQRコードを入口に掲示すること等）

○大声を出さないことの担保（大声の抑止）
- 大声を出す者がいた場合、**個別に注意、対応等ができるよう体制を整備**（人員を配置する等）
- スポーツイベント等では、**ラッパ等の鳴り物を禁止**し、個別に注意、対応等ができるよう体制を整備

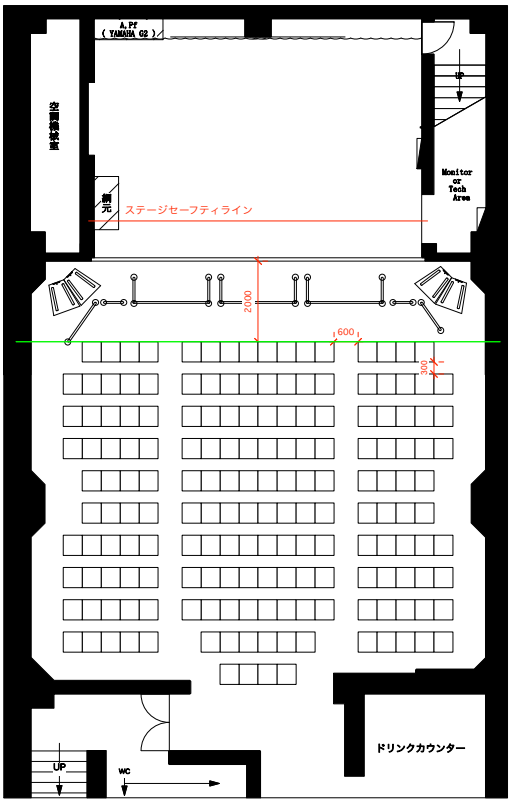
○密集の回避（イベントの入退場や休憩時間における三密の抑止）
- **入退場列や休憩時間の密集を回避する措置**（人員の配置、導線の確保等）や**十分な換気**
- **休憩時間中及びイベント前後の食事等での感染防止**
- 入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はそのキャパシティに応じ、目安の人数上限等を下回る制限の実施

○演者・観客間の接触・飛沫感染リスクの排除
- **演者・選手等と観客が**催物前後・休憩時間等に**接触しないよう確実な措置を講じる**とともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては開催を見合わせること

○催物前後の行動管理（交通機関、イベント後の打ち上げ等における三密の抑止）
- 公共交通機関・飲食店等での密集を回避するために、交通機関・飲食店等の分散利用を注意喚起、可能な限り、**予約システム等の活用により分散利用を促進**

9/19～11/30までの収容人数に関して

基本座席図面 ※この座席図にフルキャパで収容することはできませんのでご注意ください。



こちらの座席図を元に、
チケットの販売をご調整ください。
(最大収容人数の目安は134席です)

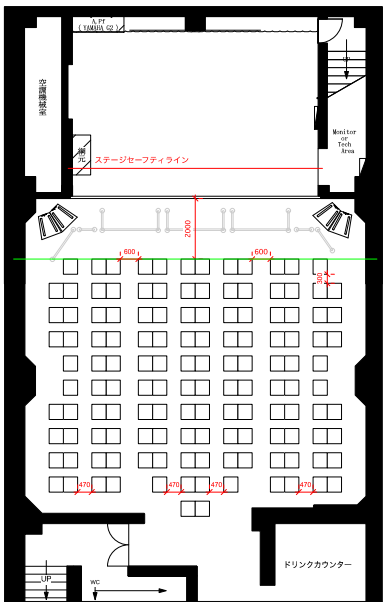
留意すべき事項として、

・異なるグループ間では
座席を１席開ける

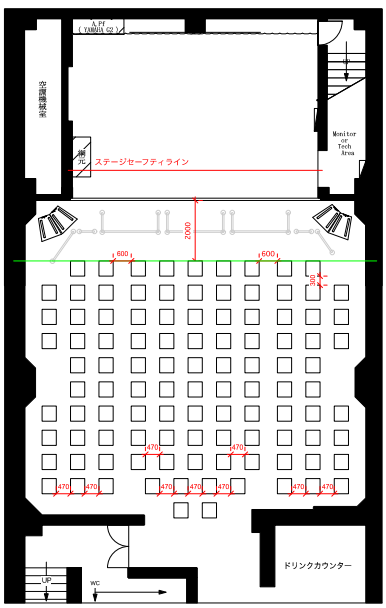
・同一グループ内では座席間隔を
設けなくてもよい。
(同一グループは５人までとする)

上記を遵守してください。

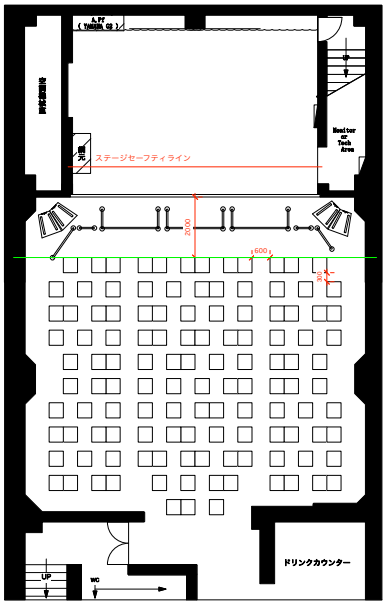
【参考１】
全てペア席で販売の場合
収容人数：134席



【参考２】
全て１席で販売の場合
収容人数：105席



【参考３】
ペア席35組70名
１席51名で販売の場合
収容人数：121席



※政府および自治体の指示や基本方針の変更、当該地域の感染拡大の状況により、即時改定する場合がございます。

利用料金に関して

PENNY LANE 24 利用料金案内

収容人数の制限に伴い、期間限定で料金区分を新設いたしました。詳細はお問い合わせください。

◆使用料金に関して　※全て消費税が別途必要となります。

ホール使用料

区分 収容人数（単位：名）	① 351～500	② 204～350	③ 117～203	④ 0～116
土日祝	¥300,000	¥270,000	¥240,000	¥150,000
平日	¥240,000	¥216,000	¥192,000	¥130,000

※２回まわし料金の設定はありません。１日に来場された合計人数で判断します。
例A：　１日２回公演で各公演50人が来場の場合　→合計100人→④に相当します。
例B：　１日２回公演で各公演80人が来場の場合　→合計160人→③に相当します。

↑
【期間】
政府および北海道で発表されている
収容人数の制限が無くなるまでを予定

※配信を併用しての公演の場合は、収録使用料¥30,000（税別）を別途申し受けます。

◆無観客配信での使用に関して　※全て消費税が別途必要となります。

ホール使用料	土日祝・平日共通：¥100,000　＋　収録使用料：¥30,000　＝　¥130,000

◆割り引き等に関して

複数日割引、ゲネプロ割引は、従前通りです。

◆【参考】アマチュア料金　※公演日から４ヶ月前より申し込み可能　※全て消費税が別途必要となります。

ホール使用料	土日祝：¥150,000	平日：¥120,000

ver. 2020/9/24